



2025年3月期
決算説明資料

富士興産株式会社
(コード:5009)

01 2025年3月期決算内容

2025年3月期（4－3月）決算ハイライト

2025年3月期（4－3月）実績

経常利益

822 百万円

対計画

(103%)

当期純利益

717 百万円

(128%)

- ✓ リサイクル事業、ホームエネルギー事業、レンタル事業が好調に推移した結果、計画比で経常利益103%、純利益128%を達成した。

2025年3月期 計画(参考)

経常利益

800 百万円

当期純利益

560 百万円

- ✓ 配当性向80%を目安に、期末配当計画56円/株に2円を上乗せした増配にて株主還元を実施予定。
(期末配当58円/株、年間配当88円/株)

2025年3月期（4－3月）決算概要



(単位：百万円)

	2025年3月期 4-3決算実績	2025年3月期 4-3決算計画	達成率	2024年3月期 4-3決算実績	前年対比
売上高	68,344	71,000	96%	61,912	110%
営業利益	800	800	100%	913	88%
石油事業	▲93	70	-	▲26	-
リサイクル事業	284	190	149%	285	100%
環境関連事業	106	80	133%	196	54%
ホームエネルギー事業	225	210	107%	210	107%
レンタル事業	277	250	111%	246	112%
経常利益	822	800	103%	946	87%
純利益	717	560	128%	607	118%

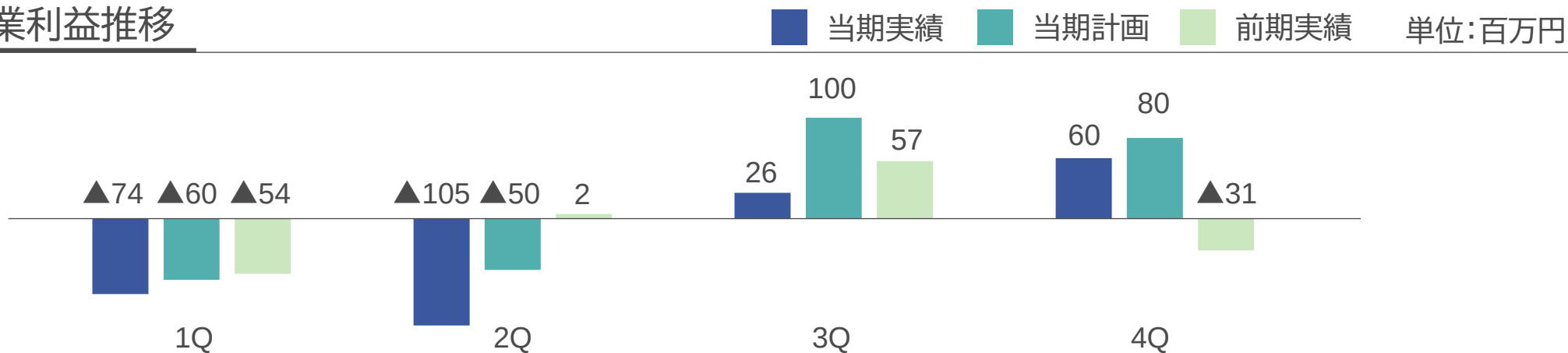
営業利益 ▲93 百万円

(計画比 ▲163百万円)

(前期比 ▲66百万円)

- 燃料油販売は、採算販売により、前期から利益の改善が図れた。
- BDF販売は、自社ブレンディング設備と提携先拠点の整備を進め、全国供給体制を構築しつつあるものの、全国需要が想定を下回ったため、販売数量、利益とも計画比で未達であった。

四半期別営業利益推移



営業利益

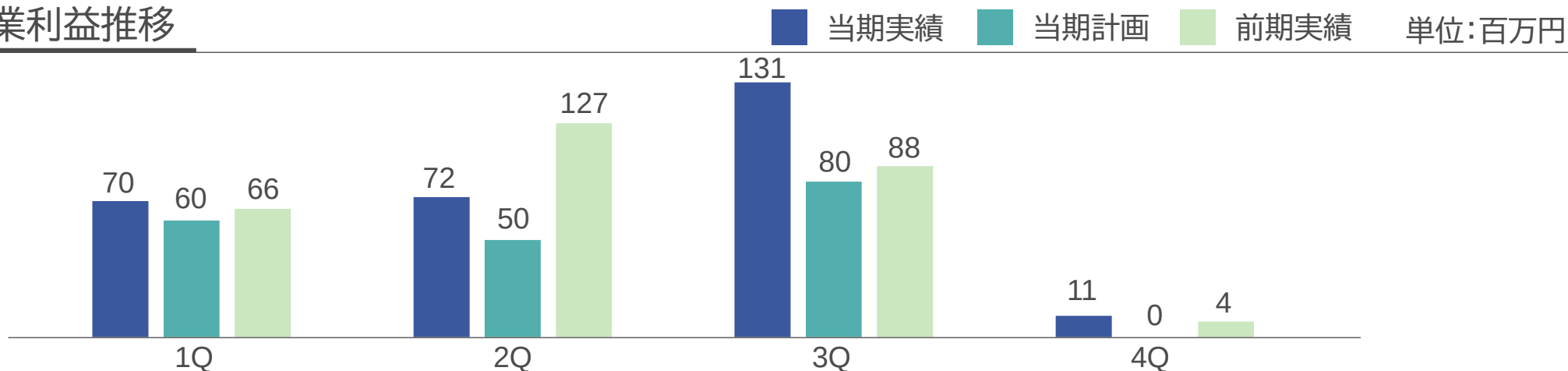
284 百万円

(計画比 +94百万円)

(前期比 ▲1百万円)

- オイルリサイクル事業は、計画通りの廃油を回収し、再生重油の販売につなげることで、計画を達成した。
- 資源リサイクル事業は、新規顧客獲得により、処理数量及び利益共に計画を達成した。
- 環境リサイクル事業は、大口の土壌対策工事の完了により、計画を達成した。
- 次年度に向けて、新たなリサイクル商材の取り込みと効率的な処理プロセスへの改善に取り組んだ。

四半期別営業利益推移



営業利益

106 百万円

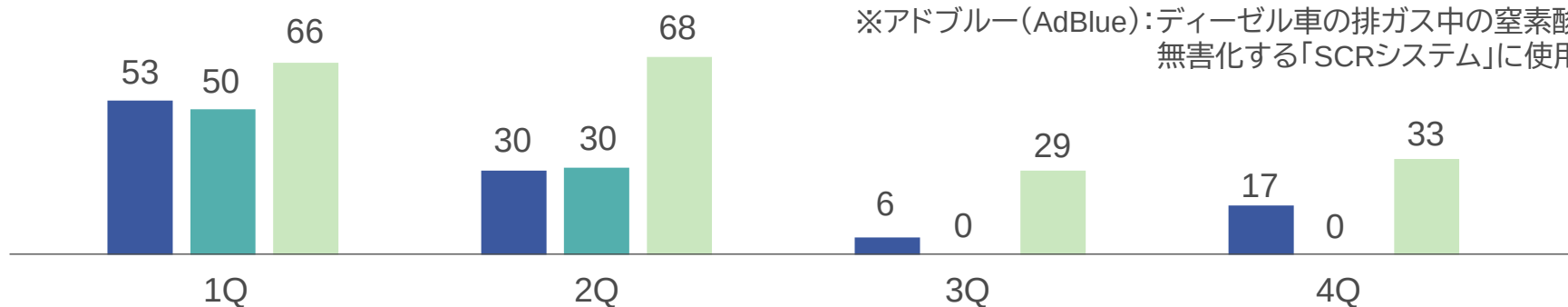
(計画比 +26百万円)

(前期比 ▲90百万円)

- メガソーラー発電は上期の修繕による稼働停止期間の影響により、計画比で未達となった。
- アドブルー販売は、カーショップ、ホームセンターなどの小売店向けの販売を強化したことにより、計画を達成した。

四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位:百万円



※アドブルー(AdBlue):ディーゼル車の排ガス中の窒素酸化物NOxを無害化する「SCRシステム」に使用させる高品位尿素水

営業利益

225 百万円

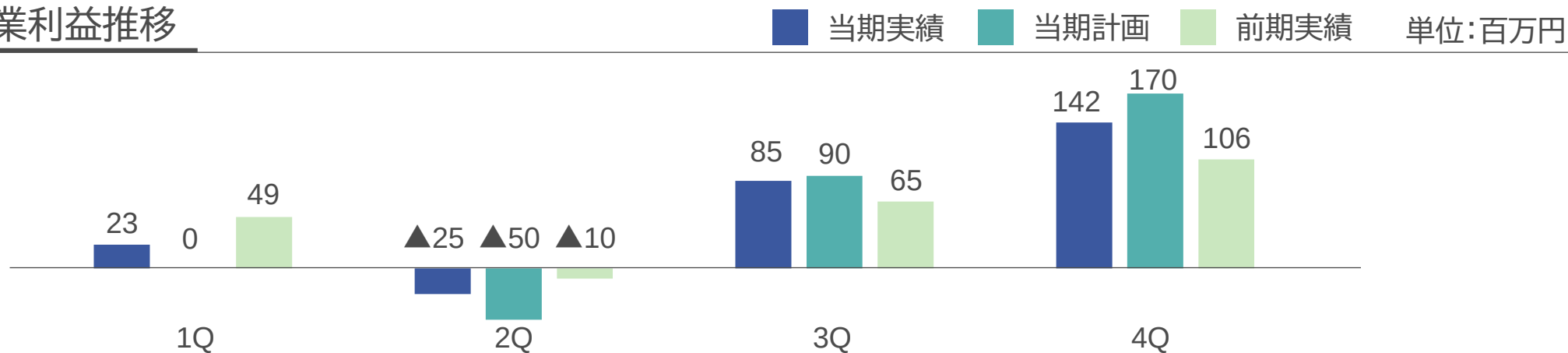
(計画比 +15百万円)

(前期比 +14百万円)

- 液石法*の改正/施行に伴い、従来から導入していた料金の透明化の徹底に努めた。
- 安全管理の高度化とサービス体制の強化を柱とした競合との差別化により、新規顧客を獲得し、計画を達成した。

*液化石油ガスの保安の確保及び取引の適性化に関する法律

四半期別営業利益推移



営業利益

277 百万円

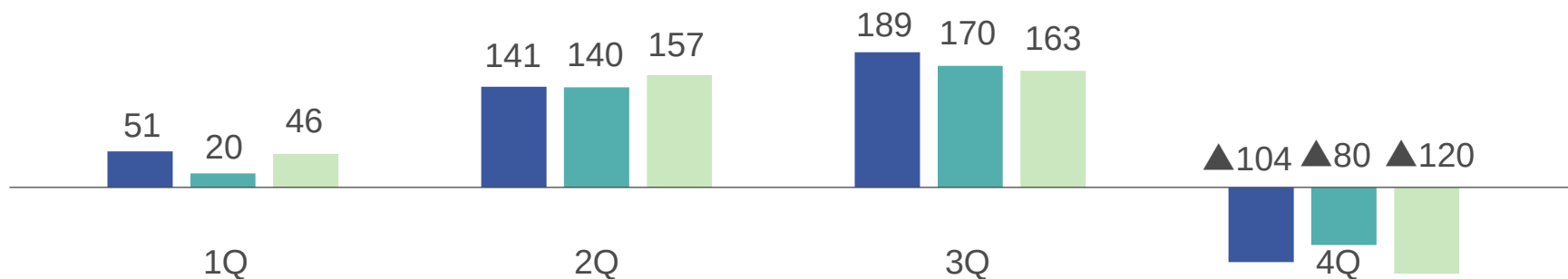
(計画比 + 27 百万円)

(前期比 + 30 百万円)

- 昨年度から開始した新たな領域の顧客開拓を継続して推進した。
- ネットワーク網を活かしたサービスの強化と顧客ニーズに応じた営業時間の設定により、顧客への付加価値を提供し、計画を達成した。

四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位: 百万円



	単位	中間	期末	合計
純利益	(百万円)	187	717	717
配当総額	(百万円)	197	382	579
配当単価	(円/株)	30	58	88
対象株数	(千株)	6,588	6,592	-
自己株式取得	(百万円)	-	-	-
総還元額	(百万円)	-	-	579
総還元性向		-	-	80.8%

02 2026年3月期見通し

2026年3月期（4－3月）決算見通し

（単位：百万円）

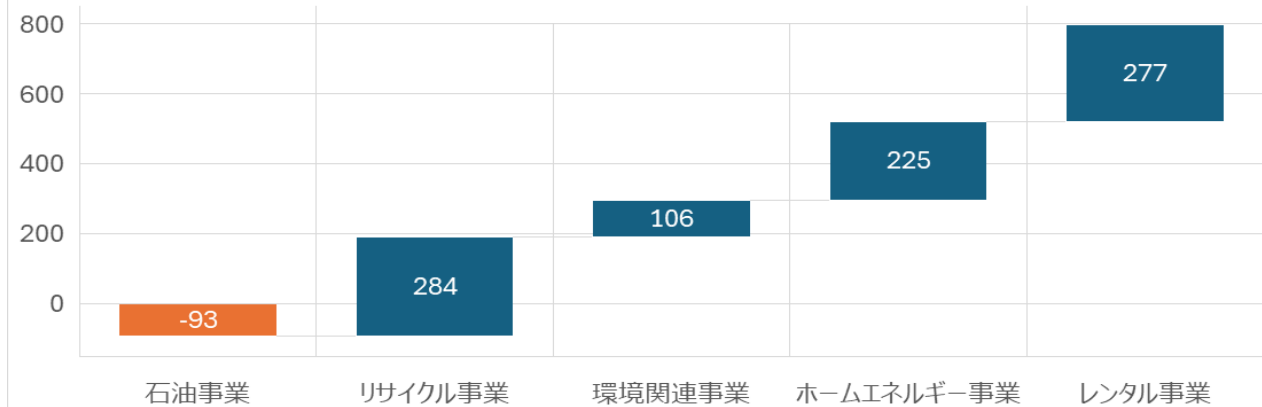
	2026年3月期 見通し	2026年3月期 中期経営計画	中計対比	2025年3月期 決算実績	2025年3月期 対比
売上高	82,000	73,000	112%	68,344	120%
営業利益	800	1,055	76%	800	100%
石油事業	70	280	25%	▲93	-
リサイクル事業	220	240	92%	284	77%
環境関連事業	20	70	29%	106	19%
ホームエネルギー事業	220	215	102%	225	98%
レンタル事業	270	250	108%	277	97%
経常利益	800	1,000	80%	822	97%
純利益	500	750	67%	717	70%

2026年3月期 セグメント別販売施策(概要)

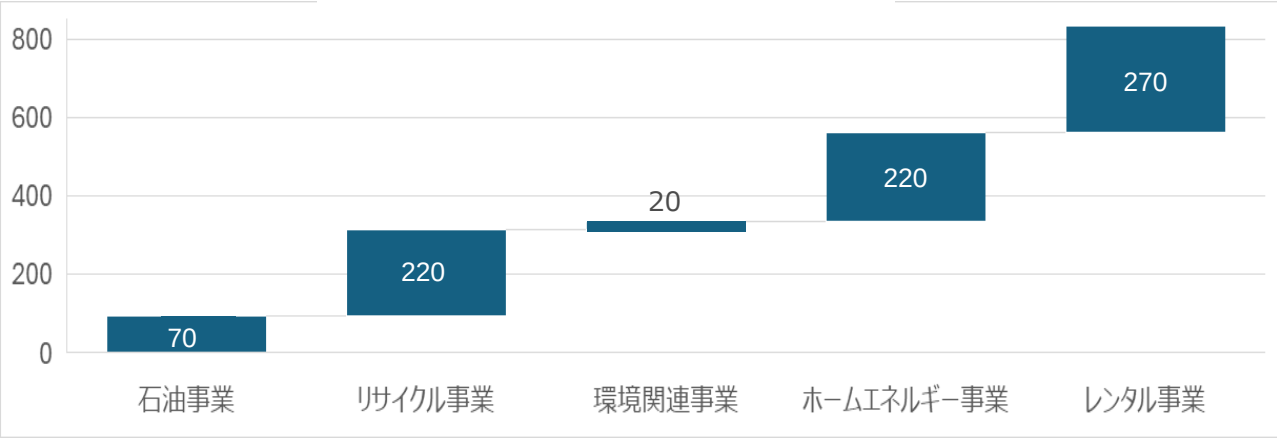
石油事業	(燃料油販売) 直売需要家を中心とした付加価値販売により、増益を図る。 (BDF販売) 全国供給体制を構築している過渡期のため、製造設備コストなどが、大きな負担となっている。
リサイクル事業	資源リサイクルの処理数量の減少による利益減を、環境リサイクルにおける完成工事高増による利益で補完する。
環境関連事業	リソースの最適配置により、利益は前期を下回るも、アドブルー販売強化により収益の確保に努める。
ホームエネルギー事業	サービス体制の強化に努め、前期実績同等の利益を確保する。
レンタル事業	差別化戦略の継続により、前期実績同等の利益を確保する。
M&A/新規事業	グループ事業拡大を目指し、リサイクル事業を中心としたM&Aに取り組み、しかるべきタイミングで適時開示を実施する。

<単位：百万円>

セグメント別営業利益(2025年3月期実績)



セグメント別営業利益(2026年3月期見通し)



	単位	中間	期末	合計
純利益	(百万円)	150	500	500
配当総額	(百万円)	204	204	408
配当単価	(円/株)	31	31	62
対象株数	(千株)	6,592	6,592	-
自己株式取得	(百万円)	-	-	-
総還元額	(百万円)	-	-	408
総還元性向		-	-	81.7%

03 持株会社体制について

長期ビジョンの達成

「環境のグリーン化対応とエネルギーの安定供給を通じて
社会に貢献するグループであり続ける」



- ①環境対応型エネルギーのコアビジネス化の「加速」
- ②積極的な投資によるリサイクル事業の「拡大」
- ③着実な事業戦略の「推進」



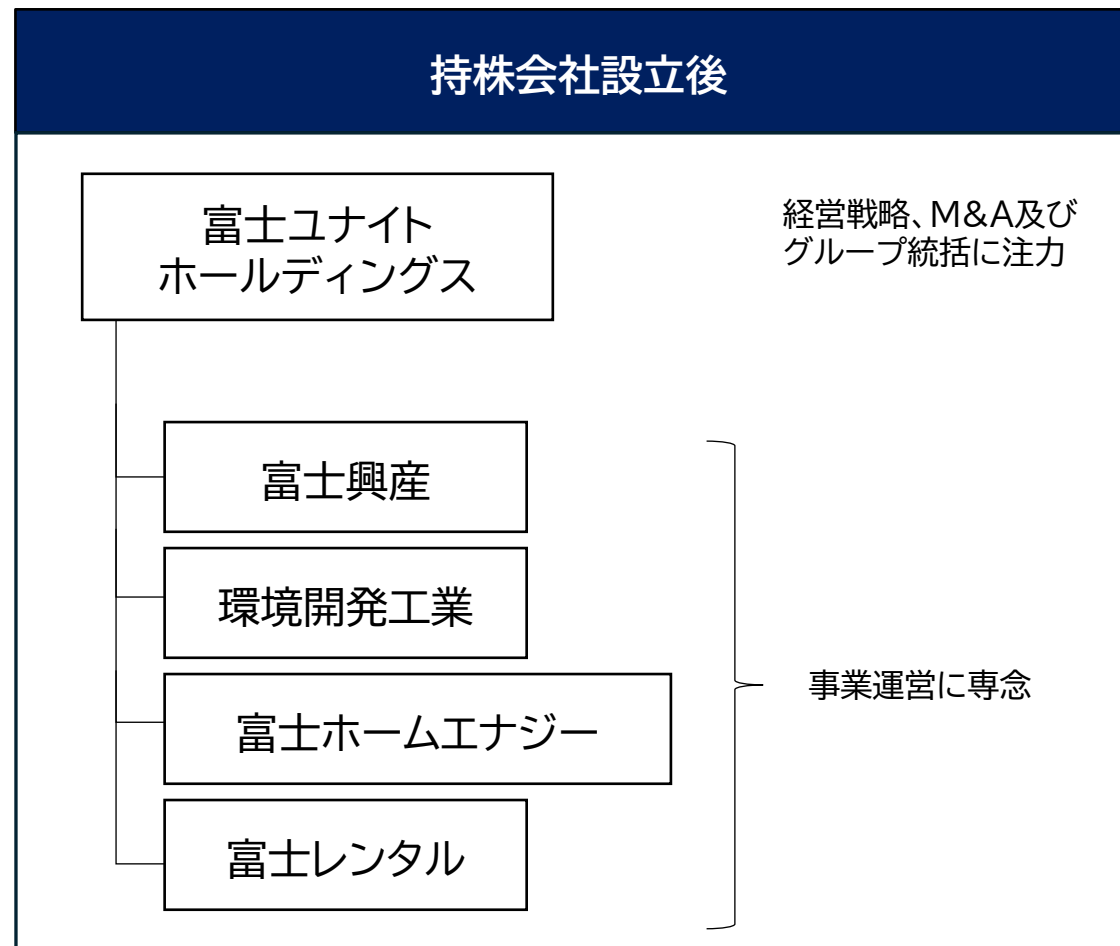
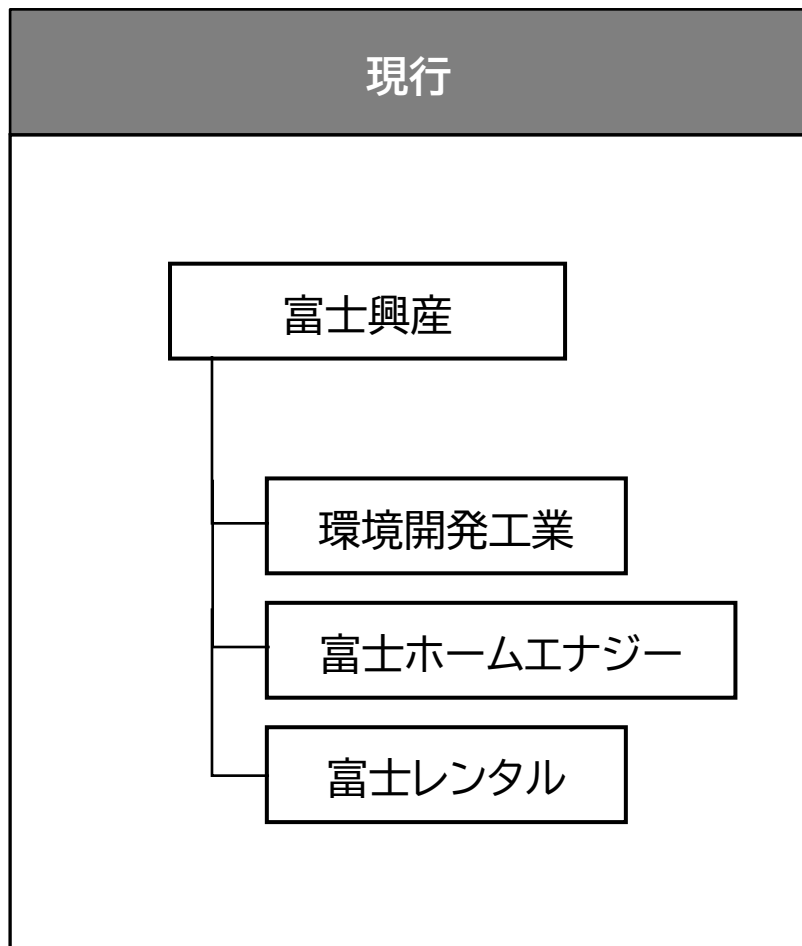
持株会社体制への移行

持株会社: グループ経営戦略の策定及びリサイクル事業を中心とする M&A や新規事業創出に注力
事業会社: 事業運営に専念し、環境変化に迅速に対応

富士ユナイトホールディングス (FUJI UNITED HOLDINGS)

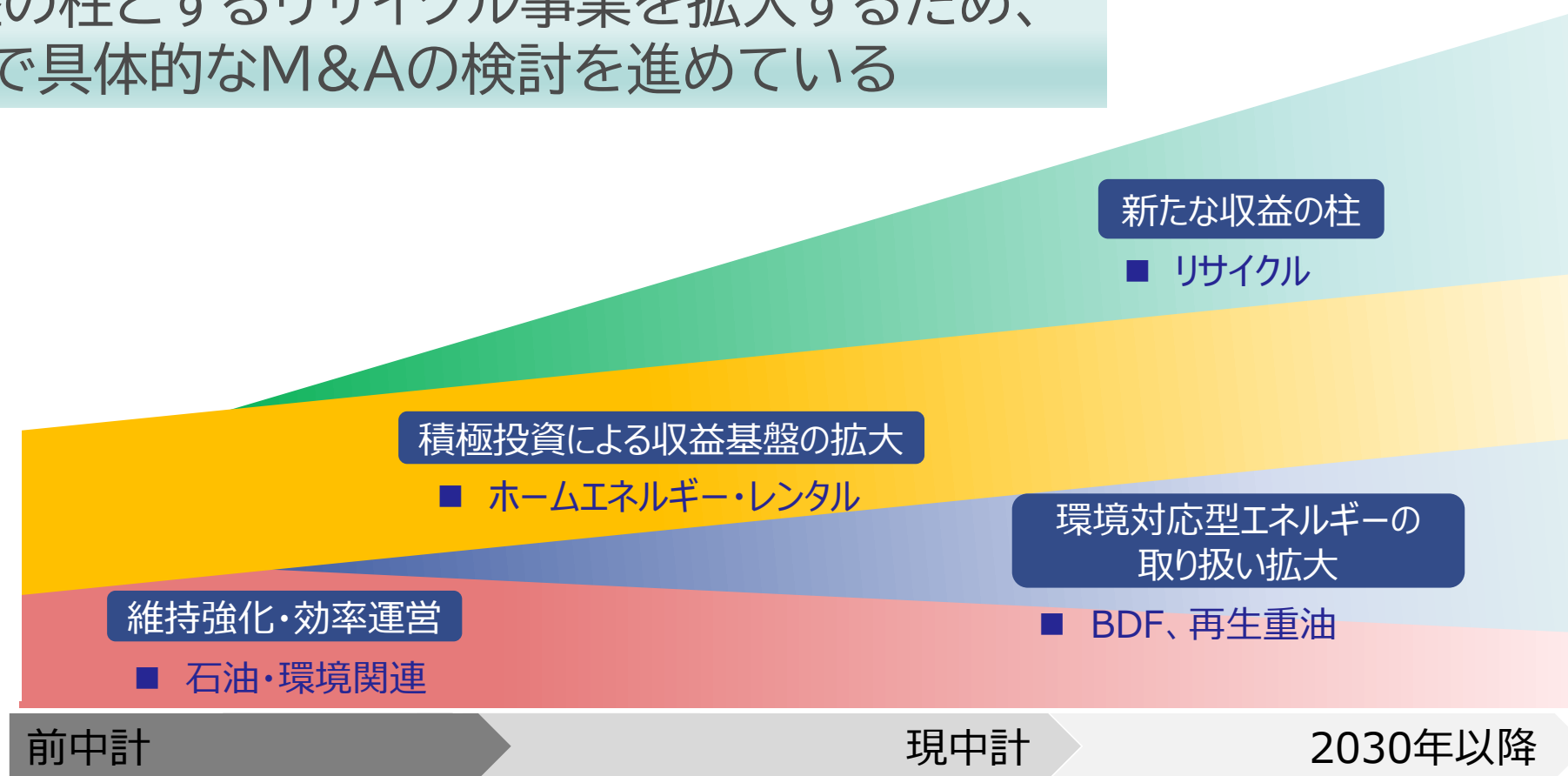
富士興産グループの「富士」を継承し、社会環境との調和の達成とグループ会社間の結束を実現するという想いを込めて、「融和、連携、協力」の意味をもつUNITED(ユナイト)と名付けた。

2025年5月15日開催の取締役会において、2025年6月27日開催予定の当社定時株主総会における承認等の所定の手続きを経た上で、2025年10月1日(予定)を効力発生日とする当社の単独株式移転により、持株会社(完全親会社)である「富士ユナイトホールディングス株式会社」を設立することを決議いたしました。



04 M&Aへの取り組みについて

新たな収益の柱とするリサイクル事業を拡大するため、
全国で具体的なM&Aの検討を進めている



- ・資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- ・当資料に記載されている当社の現在の計画等は、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらにより将来予測・業績予想には、リスクや不確定な要因を含んでおります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

燃料油の付加価値販売とBDFの全国販売

営業利益計画

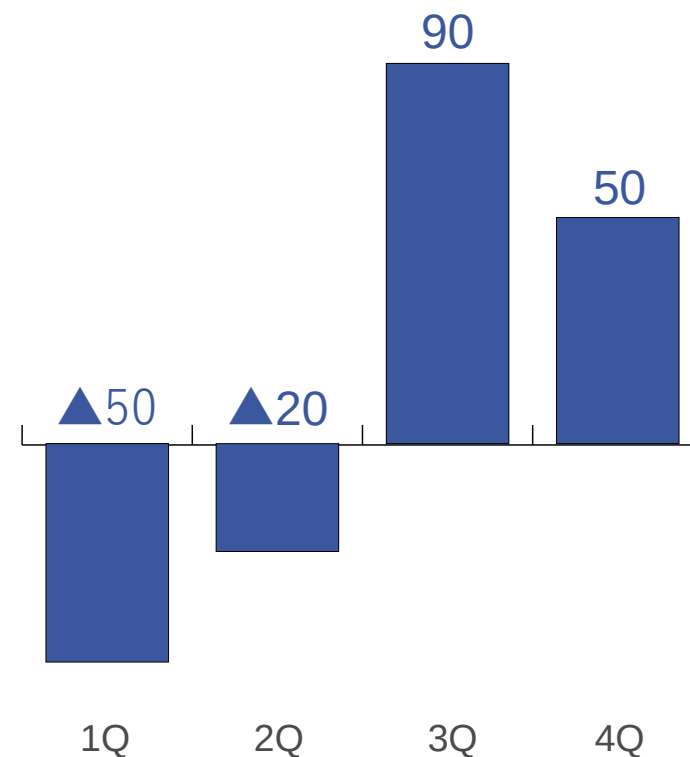
70 百万円

(中計比 ▲210百万円)

(前期比 +163百万円)

- 自社配送能力強化による付加価値販売
- 直売需要家を中心とした付加価値販売の推進
- BDFおよび再生重油の全国供給体制の拡充
(自社ブレンディング設備増設、提携供給先拡大)
- 石油製品(ベースオイル)輸出ビジネスの立ち上げ

四半期別営業利益計画 (単位：百万円)



再資源事業等高度化法の施行への対応と新規事業領域の拡大

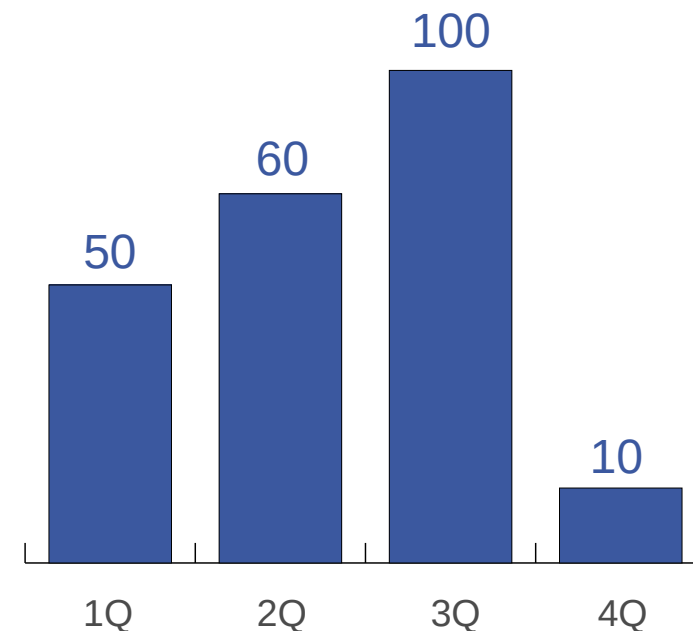
営業利益計画 **220** 百万円

(中計比 ▲20百万円)

(前期比 ▲64百万円)

- 動脈産業と連携して、新たなリサイクルスキームを構築
- 再生重油の効率的な生産(製造プロセスの改善)を実施
- 漏油事故への迅速な対応を可能とするSNS活用を推進

四半期別営業利益計画 (単位: 百万円)



環境負荷低減に資する新規事業の開拓

営業利益計画

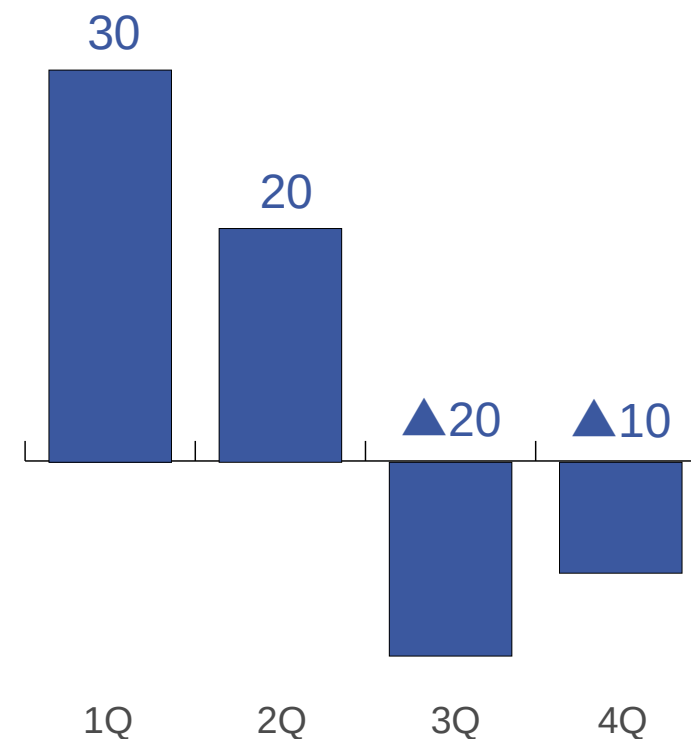
20 百万円

(中計比 ▲50百万円)

(前期比 ▲86百万円)

- アドブルーの新規チャネルの開拓
- 既存太陽光発電所の発電効率の維持と新規サイトの開拓
- 新たな再生エネルギー事業の検討

四半期別営業利益計画 (単位：百万円)



安全管理の高度化とサービス体制の強化

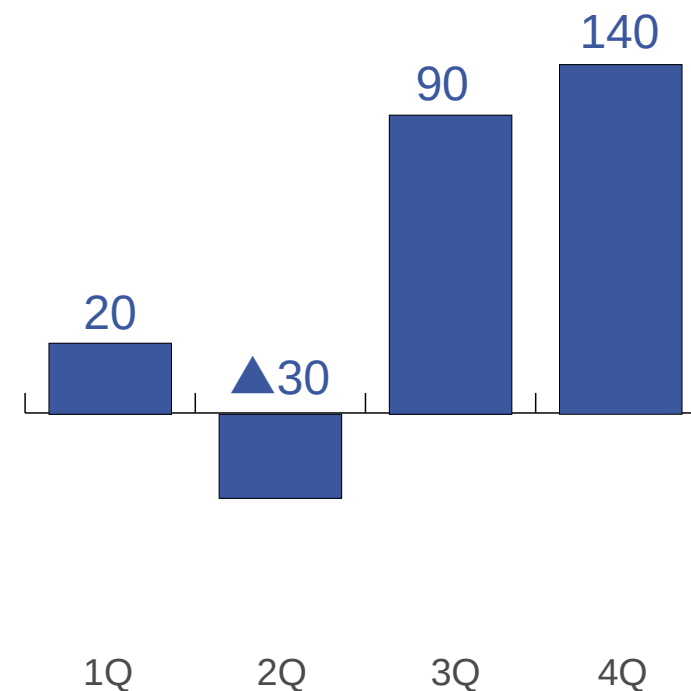
営業利益計画 **220** 百万円

(中計比 + 5百万円)

(前期比 ▲ 5百万円)

- 液石法の遵守
- 「安全・安心・安定」の供給体制を維持しながら新料金体制への移行促進
- SNSを活用した、住設機器販売による顧客開拓

四半期別営業利益計画 (単位：百万円)



顧客志向に基づく他社との差別化戦略の継続

営業利益計画 **270** 百万円

(中計比 +20百万円)

(前期比 ▲7百万円)

- 安定的な機材供給による顧客満足度の向上
- ネットワーク網を生かしたサービス提供と顧客ニーズに応じた営業時間の設定
- 継続的な新事業領域の開拓

四半期別営業利益計画 (単位：百万円)

